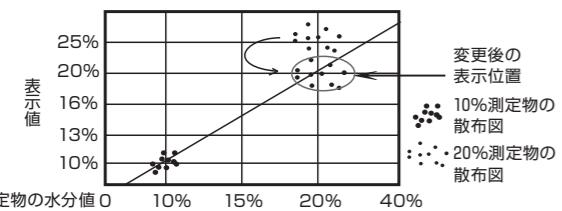


13. 傾き設定例

ここからは複雑な計算が必要になり、操作を繰り返さないと正しい数値にならない場合があります。

例1) 各々水分値の異なる被測定物があり、10%の測定物はだいたい合っているが20%の測定物は25%と表示される。この場合は低水分と高水分がずれた数値になっているので「傾き」を設定します。



手順

- ①「START」ボタンを押して電源を入れたら「+」か「-」ボタンで希望のレンジに移動します。
- ②最初に低水分の測定物、後から高水分の測定物を計り水分値を記録しておきます。
- ③次に計算を行います。計算式は次のようになります。

$$\begin{aligned} \text{高水分の水分値 (20\%)} - \text{低水分の水分値 (10\%)} &= B \\ \text{高水分を計った時の値 (25\%)} - \text{低水分を計った時の値 (10\%)} &= C \\ B \div C \times 100 = A (\text{傾き}) &\text{に入力する値を計算します。} \\ 10 \div 15 \times 100 = 66.66 & \\ = 67 \quad * \text{小数点以下は切り捨てます。} \end{aligned}$$

- ④「+」「-」を同時に押し「H」表示にします。
- ⑤「START」ボタンを押し「A」表示にします。
- ⑥「-」ボタンを押して算出した「67」に設定します。
- ⑦「AVE」を押し、入力した数値を設定します。
- ⑧低水分の測定物を再度計ってください。

ここで数値が極端にずれている場合には先述の「平行移動例2」を参照して「平行移動の設定」を行ってください。
このように何度か操作を繰り返していると、低水分／高水分共に思っていたとおりの数値が表示されるようになります。

◎本器を正しくご使用いただくために、以下のことを守ってください。

●この商品は水分値をはかるためのものです。それ以外のご使用はしないでください。 ●ご使用前には必ず本書をお読みになり、大切に保管してください。 ●分解、改造をしますと故障の原因となりますので、絶対にしないでください。 ●本器は精密にできていますので落させたり、衝撃をあたえないよう注意してください。 ●直射日光のある場所や熱器具の近くでの使用はやめてください。正しい測定ができるだけでなく、ケースの変形や故障の原因となります。 ●電気的ノイズが発生する環境でご使用しますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。 ●標準空気組成(一般大気)以外でのご使用は絶対にしないでください。 ●本体は防水構造ではありませんので絶対に濡らさないでください。 ●測定範囲外でのご使用は本体の故障の原因となります。 ●長時間使用しない場合、必ず乾電池を取りはずしてください。電池を入れたままにしておきますと乾電池から液漏れする場合があり、故障の原因になります。 ●不要になった乾電池は火中に投入しないでください。 ●本器は幼児の手の届かないところに保管してください。 ●乾電池は幼児の手の届かないところに保管してください。 ●万一飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。 ●環境保全のため使用済み乾電池はそれぞれの市町村の条例に基づいて処理するようお願いします。 ●本器をアルコール、シンナー、その他溶剤などで洗ったり、拭いたりしないでください。汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯にガーゼなどを浸し、よく絞ってから拭いて下さい。 ※修理、校正は御買上げ店にお申し付けください。

保証書

型式. MDRX-1
No.

正常なお取扱いにもかかわらず自然故障が発生した場合、本保証書を提示して下さい。御買上げの年を含めて1年間、無償で修理いたします。
但、天災、衝撃、誤操作、消耗等が原因と認められた故障は対象外となります。
本保証書がない時、必要事項の記入されていない時は有料となりますので、紛失しないように大切に保管して下さい。

御名前	販売年月	年	月	日
御住所	販売店			

OGA 株式会社 オガ電子

OGA
ELECTRIC CO.,LTD

株式会社 オガ電子
〒328-0062
栃木県栃木市泉川町97-1
TEL: 0282-22-2203(代)
FAX: 0282-22-2201
<http://www.oga-denshi.co.jp/>

OGA
ELECTRIC CO.,LTD

多機能簡易型 デジタル水分計

MODEL MDRX-1

取扱説明書

1. はじめに

この度はMDRX-1をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
MDRX-1を十分にご活用して頂く為に、この説明書をよくお読み下さい。
お読みになられた後も大切に保管して下さい。

2. 測定上の注意

- 注意**
- 不安定な粉状や粒状のものは測定できません。
 - MDRX-1本体で温度補正を行っておりますので、測定温度範囲内であれば測定値の温度変換は不要です。
非測定物とMDRX-1本体の間で温度差がありますと測定誤差を生じますので、出来るだけ測定物とMDRX-1本体と同じ温度にしてから測定して下さい。
 - センサーは測定物に強く押し付けたり、コードを強く引いたり曲げたりしないでください。破損する場合があります。

3. ご使用になる前に

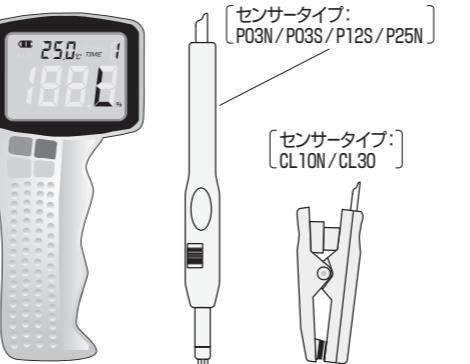
- 本品はセンサー部に設置された電極間の電気抵抗値を測定し、相対的に水分値として表示されるように設計されています。

* 水分表示値は絶対的ではありません。あくまで電気抵抗値と相対的に表示しておりますので、試料の中に導電性(塩分・金属)の物質が含まれている場合には誤差が生じます。
測定物の含有物質の割合が均一で少量(水分値にそれほど影響を与えない範囲)でしたら本機の設定により、比較検査等にご使用することが出来ます。

4. 機器/付属品の確認

機器・付属品がそろっているか確認してください。
万一、付属品が足りない場合は弊社までお問い合わせください。

- MDRX-1本体
(センサー部を含む)



- 単三形電池
(2個)



残量 多



残量 小



残量 空

- 取扱説明書
(本書)



5. 各部の名称/機能

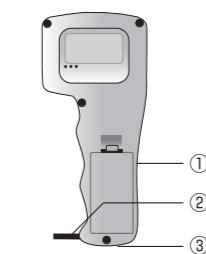
【本体操作】

- ①測定ボタン(赤) 押すと電源が入り、一回目の測定が行われます。このボタンまたはセンサー部のボタンを押すと、水分値の測定をします。
- ②平均ボタン(青) 2回以上の測定を行った場合、平均値が表示されます。(3秒の長押しで電源が切れます)
- ③レンジ切り替えボタン「+」一度押すと1レンジずつ進みます。
- ④レンジ切り替えボタン「-」一度押すと1レンジずつ後退します。
- ③④ボタンを同時に押すと検量線変更モードに入ります。



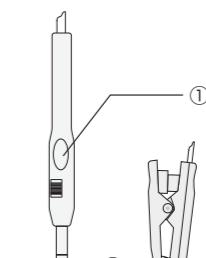
【本体背面】

- ①電池ぶた
- ②センサーコード
- ③ストラップホール

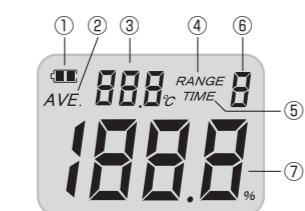


【センサー部】

- ①測定ボタン(※クリップタイプは無し) 水分値を測定します。(センサーティプ: P03N/P03S/P12S/P25N)
- ②センサーピン 測定物にあてて測定します。
※クリップタイプは測定物をはさんで測定します。(センサーティプ: CL10N/CL30)



6. 液晶表示部



* 写真のイラストは見やすくするために、文字は全点灯状態にしてあります。

- ①バッテリー残量表示：電池の容量を表示します。

■ 残量 多

■ 残量 小

□ 残量 空

- ②平均値 値：2回以上測定した時の平均値を点滅して表示します。

③温度表示：水分計本体の温度を表示します。

④レンジ表示：現在の測定レンジを表示します。

⑤回数表示：測定回数を表示します。

⑥“RANGE”が表示されている時は現在のレンジ番号を表示し、“TIME”が表示されている時は測定回数を表示しています。

- ⑦水分値を表示します。

7. MDRX-1の使い方

* センサー部がきれいになっているか確認して下さい。汚れている場合はセンサー部を乾いた布などで良く清掃してください。

- 手順 1 「スタートボタン」を押し電源をいれます。
「L」表示が出るか確認して下さい。



- 手順 2 表示されている本体温度と測定物の温度ができるだけ同じにしてから測定を開始してください。

注) 本機と測定物の温度に差があると測定値に誤差が生じます。

- 手順 3 「+」か「-」ボタンで測定する任意のレンジ「RANGE1」から「RANGE8」に合わせて下さい。



- 手順 4 [センサータイプ:P03N/P03S/P12S/P25N]
センサー先端部を測定物にあてて、本体の“START”またはセンサー部の“測定”ボタンを押して測定を開始します。

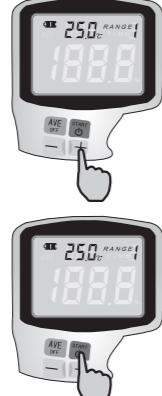
* センサーピン2点のセンサー先端部が均一に同じ圧力になるように注意して下さい。

注) やわらかい測定物もセンサーを当てる圧力や深さを毎回一定にして下さい。
この場合も測定値に誤差が生じます。

- [センサータイプ:CL10N/CL30]
センサー部の2つの電極に測定物が平行に乗るようにして下さい。

* 乾麺を測る場合電極間で麺が折れないと測定できません。

- 手順 5 より正確に測定値を求める場合には、何度か測定を繰り返し「AVE」ボタンを押して平均値を求めて下さい。



- 手順 6 使用後はセンサーを十分に清掃してください。

注) 工場出荷時の設定は当社があらかじめ被測定物として予想できる限りの範囲の試料を用いて平均的な測定値が表示されるよう設定されています。

お客様の測定する被測定物の種類、硬度や含有水分量、また使用範囲が測定能力を超てしまっている場合においては、測定が出来ない場合があります。

8. お客様が水分値を設定する場合

MDRX-1は購入時のままでも水分計としてお使い頂けますが、よりいっそう絶対乾燥法による値に近づけるためにユーザーズレンジを設けてあります。

MDRX-1は8つのレンジがあらかじめ用意されています。

ひとつは「標準レンジ」と呼ばれるもので、液晶には「RANGE1」と表示されます。

- RANGE1標準レンジ
- RANGE2~8ユーザーズレンジ



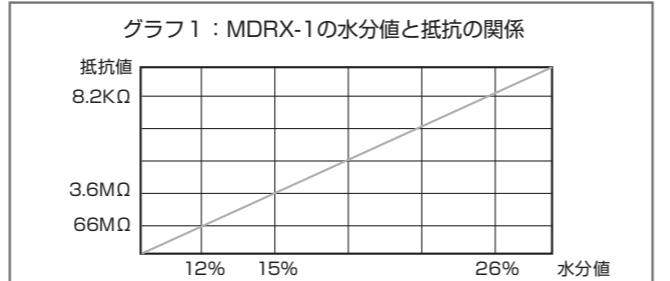
その他に7つのレンジがありますが、これを「ユーザーズレンジ」と呼びます。各レンジ(標準レンジも含めて)は各々他のレンジと独立していますので、ユーザーズレンジごとに、お客様ご希望の被測定物に合わせて設定値が変更可能です。

「標準レンジ」と「ユーザーズレンジ」の各レンジは工場出荷時に同じ表示が出るように設定されています。「標準レンジ」も変更可能ですが、後に説明する確認方法が応用できますので、出来るだけこのレンジは工場出荷時そのままお使いになることをお勧めします。

9. ユーザーズレンジについて

MDRX-1の全レンジ(RANGE1~8)は出荷時にグラフ1のように、センサー電極間の抵抗値で%表示させるか設定されています。このままでもご使用できますが、よりいっそう絶対乾燥法による値に近づけるために、ユーザーズレンジを設けてあり、検量線は一次関数の「 $y=Ax+B$ 」で求められます。

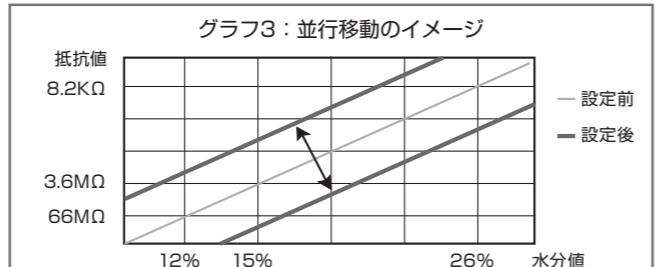
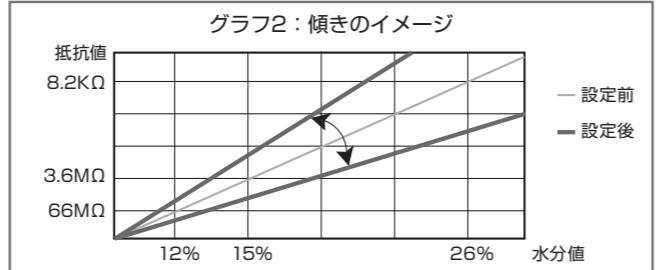
(詳しくは「13.傾き設定例」を参照)



ユーザーズレンジには設定できる機能として「傾き」と「平行移動」の2種類があります。簡単に説明すると「傾き」は数値のカーブを高めたり、また低くする機能です。

これに対して「平行移動」は数値のカーブ全体を上げたり下げる機能です。現在表示されている表示値に対して「傾きはかけ算」「平行移動はたし算」と考えて下さい。

傾きと平行移動のイメージを下のグラフに表します。



標準レンジの設定値について

- MDRX-1は工場出荷時において、標準レンジとユーザーズレンジ RANGE1~8にあらかじめ暫定的な設定値を入力しています。すべてのレンジで「傾き(A)」を100、「平行移動(H)」を0.0に設定しています。お客様が数値を変更し、元に戻したい場合はこれらの数値を入れなおして下さい。



10. 平行移動の設定

- 手順 1 「START」スイッチを押し電源を入れます。



- 手順 2 「+」か「-」ボタンを押し希望のレンジに移動する。



- 手順 3 「+」か「-」ボタンを同時に押すと「0.0」と表示が出ます。工場出荷時には全レンジ「0.0」に設定していますが、以前設定を変更された場合はその数字が表示されます。



- 手順 4 ここで「+」か「-」ボタンを押し、目標の数値になるまで押していくまです。可変範囲は-99から+99.9まで値を変えられます。



- マイナスは19.9まで0.1きざみ、プラスは99.9まで0.1きざみです。

* 1秒以上長押しすると連続して数字が変化します。

- 手順 5 設定したら「AVE/OFF」ボタンを押し「L」表示が出れば設定完了です。

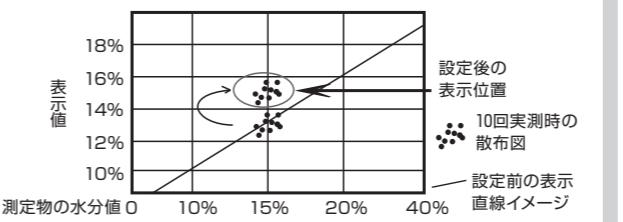


- * 変更前に測定を行って測定値が表示されていた場合は変更後の値によって再計算された水分値が表示されます。

11. 平行移動設定例

- 例1) 15%の水分値がある被測定物を測ってみたが、13%と表示される。

実際の水分値より2%低く表示されるので、+2%多く表示されるように「平行移動」を設定します。



手順

- ①「START」ボタンを押して電源を入れたら「+」か「-」ボタンで希望のレンジに移動します。



- ②「+」「-」を同時に押すと「0.0」と表示が出ます。



- ③ここで「+」ボタンを押して「2.0」に設定します。

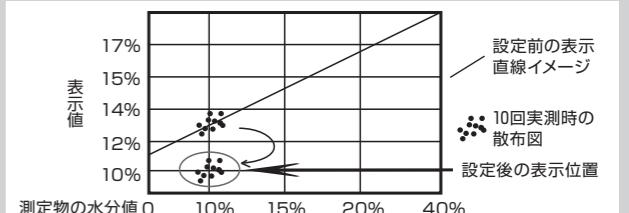


- ④「AVE」を押し入力した数値を設定します。



- 例2) 10%の水分値がある被測定物を測ってみたが、13%と表示される。

実際の水分値より3%多く表示されるので、-3%低く表示されるように「平行移動」を設定します。



手順

- ①例1) の設定例を参考に平行移動を「-」ボタンで「-3.0」に設定します。



12. 傾きの設定

- 手順 1 「START」スイッチを押し電源を入れます。



- 手順 2 「+」か「-」ボタンを押し希望のレンジに移動する。



- 手順 3 「+」「-」ボタンを同時に押すと「0.0」と表示が出ます。



- 手順 4 次に「START」ボタンを押し「A」を表示させます。



- 手順 5 「+」「-」どちらかのボタンを押し、希望の数値に設定します。工場出荷時には全レンジを「100」に設定していますが、以前設定を変更された場合はその数字が表示されます。可変範囲は0~199まで値を変えられます。



1秒以上長押しすると連続して数字が変化します。



工場出荷時の設定は「100」です。



- 手順 6 設定が完了したら、再度「AVE/OFF」ボタンを押してください

